

認知症を学び、地域で支えよう

～ あなたも**認知症サポーター**になりませんか？ ～

小郡市では、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を支援する「認知症サポーター」の養成を進めています。



▲地域、学校、企業等多くの皆さんがサポーターとなって頂きました

現在のサポーター養成数 1,048 人

(平成22年7月1日現在)

あなたの認知症知識度チェック

- | | はい | いいえ |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 認知症の人は、本人にその自覚がない | ☐ | ☐ |
| 2. 認知症は病気ではない | ☐ | ☐ |
| 3. 認知症は治らない | ☐ | ☐ |
| 4. 認知症になると何も分からなくなる | ☐ | ☐ |

* 答えは、認知症サポーター養成講座で！

■認知症サポーターとは

なにか特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族をあたたかく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動します。

自分自身の問題として認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症や家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

■認知症サポーターになるためには

地域、学校、商店街、職場など、約 10 人以上の団体に講座の申込みを頂きますと、事務局よりキャラバン・メイト（講師）を派遣します。また、講座受講者には認知症サポーターのシンボルグッズのオレンジリングが配布されます。



認知症サポーター養成講座は、たくさんのボランティアの方によって支えられています



現在、小郡市のキャラバン・メイトは 31 人。

市内の介護施設・事業所で働く方々や民生委員、地域包括支援センターの職員など様々な職種で構成されています。今回は、講師陣であるキャラバン・メイトの一人、

福田清隆さん（立石／グループホーム風のふく丘 1・2）にインタビューをしました。

Q. 認知症サポーター養成講座で印象に残っていることは？

A. 昨年 12 月に行われた三国中学校 3 年生の生徒の皆さん（329 人）との講座ですね。これからの社会を担っていく方々に学校教育の一環として講座を開いて頂き、中学生たちと一緒に認知症高齢者のこ

とを考えることができたことが印象に残っています。

また、キャラバン・メイト全員の協力で講座を行えたということも心に残るサポーター養成講座でした。

Q. 認知症高齢者が地域で暮らしていくためにはどんなことが必要だと思いますか？

A. あらゆる世代の市民の皆さんが、福祉に対する理解、支援に協力頂けることが必要だと思います。この認知症サポーター養成講座は、そのきっかけになる講座であれば良いと思います。

Q. これから認知症サポーター養成講座は、どんなことに力をいれていきたいですか？

A. 認知症になっても安心して地域で暮らしていけるような小郡のまちづくりを進めていきたいです。そのために、まちの中の企業や学生、地域住民の方、あらゆる方に参加頂きたいと考えています。

認知症サポーター養成講座の問い合わせ・申し込みは下記連絡先までお問い合わせください。

小郡市地域包括支援センター ☎ 72-7551、介護保険課高齢者サービス係 ☎ 72-2111 内線 454